

脱寛（だっかん）

昔ながらの玄関には、土間の上に沓脱台、式台、上がり框があり、床が広がっています。これを「脱寛」と命名します。靴を脱がせることも立派な手法であると考えます。靴を脱ぐことは、ウチとソトを分けることで、ウチでは安心して寛ぐことができます。靴を脱ぐことは、「和」を始めるということなのかもしれません。

